

# 自己評価結果公表シート (2023年度)

学校法人 三宅学園 いなお幼稚園

## 1. 本園の教育目標

家庭的な雰囲気とゆったりとした環境のなかで、キリスト教の愛と奉仕の精神を基として、①自分から挨拶する子ども、②呼ばれたら「ハイ」と返事が出来る子ども、③行儀の良い子ども、④思いやりのある子ども、⑤創造性・感受性豊かな子ども、に育てる。そのために職員一人ひとりが⑥子どものお手本であることを常に意識しながら、言葉遣いや立ち居振る舞いに気をつけて保育に取り組む。また 子ども・保護者・職員が共に育ち合う関係を築けるよう、連携を密にしながら日々の教育保育に取り組む。

## 2. 本年度、重点的に取り組む目標・計画

子どもの心身の健やかな成長発達を助長するため、前年度の反省を生かしながら、以下について取り組む

### 【指導計画の見直し・改善】

- ・感染対策をしながらコロナ禍前の行事を復活したり、コロナ禍で新たに取入れた行事を継続したり、子どもの心身の成長にとって良いと思われる教育保育を実践していく。
- ・運動会の会場として借りていた浜寺小学校が校舎建て替え工事で借りられなくなるので、早急に情報収集したうえで会場を確保する。
- ・4・5歳児のワーク（数と書きの練習帳）は丸つけをする先生の負担軽減のため、活動スケジュールと先生の配置を見直す。
- ・プール指導は委託先のスイミングスクールと連携を深め、引き続き指導してもらう。
- ・体操指導は環境設定や補助の仕方など、職員一人ひとりの指導技術の向上に努める。
- ・昨年度より継続して園内ポタジェや園外の貸農園で季節の野菜やお花を栽培し、自然への興味関心や食べることへの意欲を深めていく。

### 【職員の共通理解と業務効率の向上】

- ・ノンコンタクトタイムとしての土曜会議では、より一層の効率向上のため、役割分担を明確にするなど、会議の内容を見直していく。
- ・引き続き園児管理ソフトの効率的な使い方を習得して、事務負担の軽減に努める。
- ・職員一人ひとりの役割を明確にし、やりがいと責任を持って仕事ができるように、園長や主任は積極的にコミュニケーションを図っていく。

### 【家庭との連携】

- ・春の保護者交流会では、保護者同士の親睦を深める良い機会になり、同時開催した保護者会総会でも直に保育方針を説明できるので、継続して実施する。
- ・保護者全員と園のLINEが繋がったので、連絡や情報共有が迅速に行えるようになったが、ネガティブな事案（ケガやトラブル等）は相互理解にズレが生じる恐れがあるので、ネガティブ事案はLINEではなく直接会って伝えるようにする。
- ・保育方針や行事内容などアンケート調査をして、保護者の理解や思いを把握し、次年度の計画策定や説明内容の見直しをしていく。

### 【安全管理】

- ・いつ災害が起こっても安全に避難できるよう、今までどおり毎月避難訓練を実施する。
- ・雲梯や鉄棒で落下事故防止のためマットを敷いたが、地面が濡れている時はマットが敷けないので、その場合の安全対策を講じる。
- ・日頃から建物や遊具の安全点検をして、破損や老朽化している箇所があれば、早急に修理をして事故防止に努める。

### 3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	取組状況
【指導計画の見直し・改善】	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 春の遠足は保護者交流会も兼ねて浜寺公園行きとし、お花摘みは例年通り実施、プラネタリウム見学は移動手段をコロナ禍前（電車利用）に戻して実施した。</li> <li>• 運動会の会場は、隣校区にある浜寺東小学校にお願いしたところ、快く使わせてもらうことが出来た。</li> <li>• ワーク（数と書きの練習帳）は、給食の前後時間に実施して机の準備作業の軽減を図ったり、年長は登園順に実施したり、時間を有効に使って取り組んでいる。</li> <li>• プール指導は、今年度より1スイミングスクールに6月に6回指導してもらうことができた。</li> <li>• 体操指導は導入時に年長がお手本をしたり、教えてあげたり、子ども同士で伝えあうことを取り入れたるとともに、原点にかえてその子が出来る環境設定を日々考えて指導している。</li> <li>• 昨年同様、貸農園では春にエンドウ、初夏にオオムギを収穫して園児に持ち帰らせた。夏に収穫したイエローポップは11月の感謝祭でポップコーンにして味わった。サツマイモは猛暑の影響で昨年より収穫が減ったものの、全員で収穫し持ち帰ることができた。その後エンドウとオオムギの種まきをして輪作継続中。</li> </ul>
【職員の共通理解と業務効率の向上】	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 月一回の土曜会議では予定や方針を話し合うとともに、職員同士の親睦を深め、共通理解を図っている。</li> <li>• 園児管理ソフトのチェック項目を明確化し月末の預かり保育費集計の効率向上を図っている。</li> </ul>
【家庭との連携】	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 浜寺公園で保護者交流会を開催し、子どもを通じて保護者同士の親睦を深めるとともに園の方針を伝える良い機会になった。</li> <li>• 昨年同様、保護者による保育参加を実施した。就労中の保護者も参加しやすいように予約制とし、アプリのカレンダー機能を活用して、予約の空き日時がわかるようにしている。</li> <li>• 昨年同様、2学期終業時に園で収穫保存していたオオムギと干し柿（卒園児保護者より頂いた柿を園で干したもの）を配布し、日頃の感謝の気持ちと、分かち合いの精神を伝えた。</li> </ul>
【安全管理】	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 防災指導計画に従って、交通安全教室や月一回の避難訓練を実施し、子どもの安全意識・防災</li> </ul>

	<p>意識の向上に努めている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• 日頃から園内の安全点検をして、子どもがケガをしないように安全対策（学期ごとに、クラスでオリエンテーション実施・・・安全な遊び方や遊具の使い方説明、危険があれば即排除、ケガをした際の記録・伝達・原因究明・再発防止策など）を講じている。</li> <li>• 鉄棒や雲梯、登り棒の下など、落下事故が起きそうな場所にマットを敷いている。マットは防水カバーのあるマットを新たに購入し雨上がりでも雲梯などが安全に使えるようになった。</li> </ul>
--	---

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

<ul style="list-style-type: none"> <li>• 4・5 歳児のワーク（数と書きの練習帳）は、登園してから朝の準備が終わった子どもからするようにしたところ、集中して取り組む様子が見られ、先生の丸つけも時間差で小人数相手なので丁寧に見てあげることが出来、先生の負担軽減にもなった。</li> <li>• 運動会の会場として浜寺東小学校の校庭を借りることが出来たが、あと数年は浜寺小学校が建て替え工事で使えないため、来年度も使わせてもらえるようお願いしておく。</li> <li>• 夏のプール指導は委託先 SS の変更に伴い回数が減少したものの、年中組と年長組が 6 月に集中して計 6 回指導してもらうことができ、水慣れや泳力向上につながった。</li> <li>• 体操指導は昨年に引き続き、ピアノのリズムに合わせて身体を動かすことで、子どもが楽しみながら取り組む様子が見られた。</li> <li>• 昨年同様に農園で収穫したオオムギを脱穀・焙煎し麦茶にして味わうことや、サツマイモやトウモロコシ、豆類を、種まきや植え付け、水やり、収穫、食べるまでの体験を通して、自然の恵みを感じることが出来た。引き続き、農園でエンドウ豆とオオムギを栽培し、1 月には年長組が『麦踏み』を体験した。エンドウ豆は 4 月に、オオムギは 5 月にそれぞれ収穫する予定。また園内ではソラマメを栽培・収穫し、子どもと食べる予定。</li> <li>• 月 1 回の土曜会議では、教育保育内容や指導方針、行事内容について話し合ったり、準備をしたりすることによって、職員の共通理解の向上や親睦を深めることができています。</li> <li>• 5 月に浜寺公園で開催した保護者交流会では、保護者同士の親睦を深める良い機会となった。同時開催した保護者会総会では、和やかな雰囲気の中で保育方針を説明することができた。これからも継続して開催していきたい。</li> <li>• 保護者の『保育参加』は、我が子の園での様子やお友だちとの関わりを実際に見ることで、教育保育方針への理解や先生との信頼関係を深めることに役立っている。</li> <li>• 安全管理面では、避難訓練の毎月実施や毎学期のオリエンテーション、安全点検の実施を行っている。</li> <li>• 昨年、雲梯で落下事故（骨折）が起きたので、雲梯だけでなく鉄棒や登り棒の下にもマットを敷くようにし、マットを敷いていない時は使用しないルールにして子どもたちに伝え、事故防止に努めた。なおマットは防水タイプで、雨上がりの湿った地面でも敷けるものとなっている。また雲梯を高さの低いものに入れ替え、さらに安全性が向上した。</li> </ul>
--

## 5. 今後取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
【指導計画】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校との交流を増やす…授業参観や保育参観、交流会などを通して相互理解を深めていきたい。</li> <li>・音階楽器（木琴、鍵盤ハーモニカ、ミュージックパッド）に親しむ…一斉練習ばかりではなく、個別で使える時間をつくり、もっと気軽に音階楽器に触れる機会を増やす。</li> </ul>
【職員の共通理解と業務効率の向上】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・図書室の絵本整理…読み聞かせをした絵本で次年度もまた読んであげたら良いと思った絵本のリストを作り、まとめて置いておく。</li> <li>・子どもの情報共有…土曜会議で子ども一人ひとりの情報を共有するための話し合いをし、職員全員で子どもを育てていく。</li> </ul>
【家庭との連携】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・クラス委員会はほぼ毎月開催できたが、アンケート調査が出来なかったので、アンケート項目を決めて調査が実施できるようにする。</li> <li>・保護者とは登降園時の会話などのコミュニケーションは取れていると思っていたが、個人懇談で担任とちょっとしたことでも話せる機会があればいい、との意見があったるので、担任が登園時に門に立つ機会を増やしていく。</li> </ul>
【安全管理】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・体操指導時の安全管理…体操をする時の子どもと子どもの間隔やマットの適切な配置、動線など、安全な環境を常に考えて取り組む。</li> <li>・長期保存水や非常食など、備蓄品の管理をして大規模災害に備える。</li> </ul>

## 6. 学校関係者の評価

<ul style="list-style-type: none"> <li>・職員一人ひとりが真摯に自己点検・評価に取り組んでいる様子が伺える。</li> <li>・様々な行事（保護者交流会、お花摘み、プラネタリウム見学、七夕、花火のつどい、お泊まり保育、玉ねぎ染め、運動会、お芋ほり、みかん狩り、サンマパーティー、感謝祭、クリスマス、おもちつき、音楽会、ひなまつり等）があり大変だと思うが、子どもたちはのびのび楽しく取り組んでいるので、今後も家庭との連携を深めながら続けて行って欲しい。</li> </ul>
--

## 7. 財務状況

<p>公認会計士による監査では、適正に運営されていると認められている。</p>
---